

# 生産者通信

NPO法人  
米ニケーションセンター  
定価 100円(送料込)

## 農業ロボの未来が見えた!!

### 平成31年度 新潟県山田錦協議会播種前研修会



家庭のお掃除ロボットのように自在に動く果樹園用除草機。近い将来農業にも期待!



最新のリモートセンシングも進化を遂げています!

平成31年3月1日、長岡工業高等専門学校にて、新潟県山田錦協議会、播種前研修会を開催しました。第一部、第二部共に大勢の方が集まり、生産者からは60名以上、三菱ケミカルから3名、ヤンマーグループから3名参加いただきました。第一部では冒頭に岩淵会長から平成31年度産山田錦の栽培指針についてお話いただきました。続いてフアム様からの最新農業ドローン「の田んぼの見える化」、コスト低減と収量増加についてご講演いただきました。三菱ケミカル様の「加進様からは「苗清水」の試験栽培と平成32年の導入に向けてお話がありました。

基調講演では和同産業の三國卓郎様より除草機の農業ロボの開発について、特別講演ではよしもとロボットの研究所の梁弘一様より笑いロボットのユーザ体験をデザインする幅が増え拓がるよきましました。



第二部では長岡工業高等専門学校のロボコン世界大会優勝経験のあるロボテイクス部からプレゼン。彼らが開発した「水田監視システム」の説明がありました。



## 旭酒造株式会社

### 桜井博志会長からメッセージ



2019年の2月28日は旭酒造にとって大きな転換点となった日です。この日に、月累計で初めて、輸出と免税売上の合計、つまり外国への売り上げが国内売を上を回りました。よくマスコミなどから「海外輸出ほどの程度を目指しますか」と聞かれて、「総売り上げの50%ぐらいになるのがあるべき姿じゃないでしょうか」と答えていましたが、実際の姿になって立ち上がったきました。この歴史的転換点の場に立って、困惑し緊張しています。どうやら、中国の税制改革で税金をスルーして中国に持ち込まれていた並行輸入酒に対して課税が強化され、今まで、国内の百貨店や酒販店の店頭から普通のお客さんを装って購入してとめて海外に輸出していた並行輸入業者が、

うまみが減って、中国向けを止めざるを得なくなつたんだと思います。開業者が減って正規輸出が増えるわけですが、半面、これからは輸出は増えるでしょうから、外国政府の思惑によって売り上げが左右される事態も将来予想されるわけです。正直「怖いなあ」と思っています。でも、おそらく今、日本酒を輸出するうえで将来を見た時、当然通らなければいけない道に立っているんだと思います。つまり、バッテリーボックスに立っている。立っている限りはバッテリーを振らなければならぬ。一つ二つ空振りするかもしれないが（空振りした時、笑って下さい）、でも最後には、必ずヒットを打ちます。

